

オートレフトポグラファー

RT-7000



オートレフトポグラフィアー

RT-7000



オートレフ・オートケラト・
角膜トポグラフィアーが一体となった!

“Auto Ref-Topographer” RT-7000

レフケラトメーターの新たなスタンダード

レフ・ケラト・トポグラフィの3つの測定が可能

- レフラクトメーター、ケラトメーター、トポグラフィアーを1台に集約。検査毎に席を移動する必要が無いので、高齢者や子供さんも負担なく検査を受けることができます。
- ワンタッチでライトコーンが測定ヘッドから姿を現し、レフケラトメーターがトポグラフィアーに変身します。



レフケラトモード

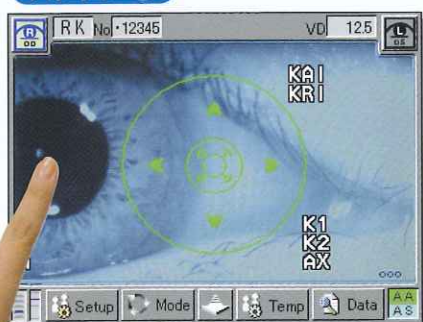


トボモード

タッチアライメントによる簡単操作

- 被検者に大きく目を開けてじっとしていただく。そんな時間を少しでも減らしたい。タッチアライメントなら中心合わせは画面を指で触れるだけ。あとはオートアライメント・オートショットですぐに測定が始まります。

ステップ①



画面に表示される瞳孔の中心に触れるだけで中心合わせができます。

ステップ②



画面の中心を軽く押して、測定ヘッドを被検眼に近づければ、オートアライメント・オートショットですぐに測定が完了します。

レフラクトモード

広視野の固視標

- 調整の介入を防ぐため、より自然な状態で固視できるよう、固視標の視野を広くしました。

IOL/白内障モード

- IOL挿入眼や白内障眼のように測定が困難な場合は、被検眼の状態に合わせ、IOLモードまたは白内障モードに切り替えられます。

角膜径・瞳孔径測定モード

- 専用モードで角膜径・瞳孔径が同時に測定できます。

電動あご受け

- あご受けは手元のスイッチで上下でき、あご受けの高さは、画面のインジケータに表示されます。

ケラトモード

「角膜不正乱視表示機能」—角膜検査の新たな流れ—

- 角膜不正乱視表示機能を搭載。ケラトメーターの可能性を広げました。従来のケラトメーターで困難だった、角膜不正乱視の程度を計測します。
- ケラト測定と同時に角膜不正乱視を表す指数KAI、KRIとその程度をA、B、Cの3段階で表示します。

● KAI:Kerato-Asymmetry Index

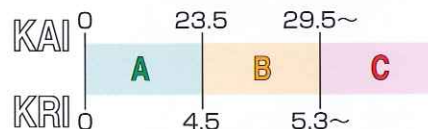
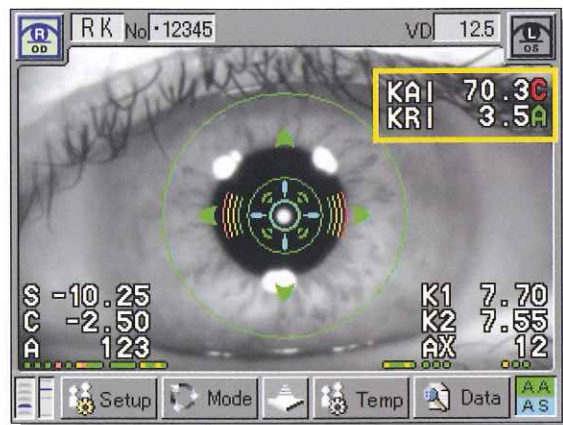
角膜の非対称性を表す指数です。円錐角膜など角膜形状が非対称な場合に数値が大きくなります。

● KRI:Kerato-Regularity Index

角膜の不規則性（高次の不正乱視）を表す指数です。角膜表面が平滑でない場合に数値が大きくなります。

- 初診における角膜不正乱視の確認
- コンタクトレンズ処方の際、種類／銘柄の選択
- 眼内レンズのパワー計算に用いる角膜曲率半径の信頼度の確認

角膜不正乱視が疑われる時は、
角膜形状の詳細を確認



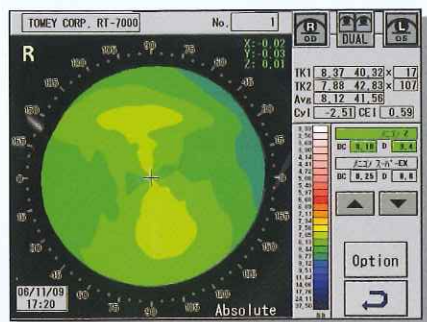
トポグラフィーモード

オートショット / オートアライメント

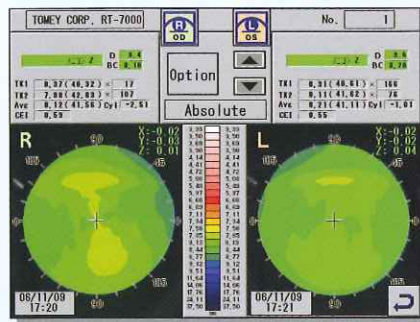
- オートショット / オートアライメントによりどなたにでも簡単に測定が行えます。
- 検者のくせや習熟度の差による測定結果のばらつきを軽減できます。

カラーコードマップ

- アブソリュートマップ、デュアル（両眼表示）マップなど診断に有用なカラーコードマップを表示します。



アブソリュートマップ



デュアル（両眼表示）マップ

コンタクトレンズ選択機能

- 角膜形状解析と同時に測定したケラト値から記録されているコンタクトレンズの銘柄別にトライアルレンズの規格を表示します。

角膜偏心指数CEI

- CEI: Corneal Eccentricity Index

角膜中心から周辺への扁平化の比率を数値化した指数です。

プリンター用USBポート・PC用LANポート

- **USB-D**ポート：Pict Bridge対応プリンターに接続して、トポグラフィー画像をカラー印刷できます。
- **USB-H**ポート：バーコードリーダまたは磁気カードリーダを接続して、被検者IDを入力できます。
- **LAN**ポート：付属のDataTransferをパソコンにインストールすると、検査結果に被検者IDを付加したファイルをパソコンへ保存することが可能です。

仕様

屈折力測定範囲	球面屈折力	-25.00D～+22.00D (VD=12.0mm)
	円柱屈折力	-10.00D～+10.00D (VD=12.0mm)
	乱視軸角度	0° ～180°
	測定時間	0.2秒 (データ取り込み時間)
	最小瞳孔径	φ2.2mm
角膜曲率半径測定範囲	角膜曲率半径	5.00mm～11.00mm
	角膜屈折力	30.68D～67.50D (n=1.3375)
	角膜乱視量	0D～10D (n=1.3375)
	乱視軸角度	0° ～180°
	測定領域	角膜上φ3mm (R=8.00mm) 位置で測定
	測定時間	0.1秒 (データ取り込み時間)
角膜形状測定範囲	表示範囲	9D～100D
	測定範囲	φ1.0～8.0mm (R=8.00mm) [通常測定モード]
	カラーコードマップ	片眼、両眼表示、乱視軸表示
	マップスケール	絶対スケール/標準スケール
	測定リング本数	15本
	測定ポイント数	最大3708点
測定原理		ライトコーン方式
PD (瞳孔間距離) 計測		可
角膜径・瞳孔径測定		可
プリンタ方式		内蔵サーマルラインプリンター デジタルカラープリンター (オプション)
データ出力		可 (LANポート/USBポート×4)
寸法		305mm (W)×493mm (D)×502mm (H)
電源		AC100V 50/60Hz 120VA
重量		20kg

オプション

T字型電動光学台
CT-300



デジタルカラープリンター



※仕様・外観等は予告なしに変更する場合があります。

製造販売元

株式会社 トーマコーポレーション

〒451-0051 名古屋市西区則武新町二丁目11番33号

TEL (052) 581-5321 FAX (052) 581-5626

URL <http://www.tomey.co.jp>

ご用命は